

# 視聴覚教育

NO. 401

発行日

26. 3. 24

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

### 『SNS』

「ソーシャル・ネットワーク・サービス」の略。ネット上のコミュニケーション手段として、人間関係のつながりを広げる場となっている。代表的なものにLINEやFacebook, Kakaoなどがある。小・中学生の利用者が、トラブルに巻き込まれる原因となることもある。

## この一年の歩み

### 学習情報指導員 川本 祐二

学習情報部は、その特性として「現代社会と教育現場の最前線」に位置している。そこでは、情報化社会の時流の中で、まだ評価の定まっていない事象や様々な矛盾に直面することが多い。情報モラルや情報セキュリティは、その最たるものである。そのため、必然的にこの分野での活動には専門性が不可欠であり、困難を伴うこともある。だからこそ協力し合い、組織の力で対応していくことが必要である。

この一年の活動を振り返ると、新たな試みが多く見られた。とりわけ、「タブレットPC講習会」と「情報モラル合同自主研修会」では、成果を実感できた。タブレットPC講習会での試行錯誤は、その後、葵中学校での授業研究協議会に結び付いた。英語科や数学科で一人一台のタブレットPCを利用した実践は、先導的な授業モデルを示したと言える。また、道徳部・特別活動部・生徒指導部と連携した合同自主研修会では、小中学校間や部会間の枠組みを越えて、具体的なトラブル事例やその指導に関する有意義な情報交換が行われた。最近では、子供たち主体の活動や授業実践が増えてきたことに手ごたえを感じる。

### ICT環境の面では、15校の職員用PCの更新と20校のPC室の更新が行われ、3校の中学校にはタブレットPCが導入されるなど、更なる充実が図られた。教育研究大会での発表や教科部会のレポートには、意欲的な取組が多く寄せられ、市内全体でICTを利用した授業実践が活発に行われている様子が確かめられた。

自作教材制作の面では、「おかげさ映像教材研究会」が、今年度も六つの自作教材を制作することができた。それらは、県自作視聴覚教材コンクールにおいて、二部門で最優秀賞を受賞するなど、全ての作品が入賞した。ESDや「岡崎の心の教育」の視点を取り入れた教材もあり、多くの授業で活用されることを期待している。

このように、今年度も多方面の活動で着実な実績を上げることによって、岡崎の視聴覚教育・情報教育の水準の高さを示すことができた。これも、ひとえに学習情報に携わる教員の情熱と、伝統に支えられた組織力の成果であろう。来年度も、子供たちのよりよい学びのために、更に充実、発展していくことを願っている。

## II 視聴覚教育あれこれ

### ●平成25年度 愛知県自作視聴覚教材コンクール 生涯学習部門

#### 最優秀賞(県教育長賞)

- 『三河木綿』(伝統を紡ぐ人々) ☆ 杉山 康子(生平小)
- 鈴木 一史(大樹寺小) 笠間 大樹(根石小)
- 本間 茂夫(根石小) 神原由里香(常磐小)
- 尾山 和昭(矢南小) 長谷川威全(本宿小)
- 高瀬 玲子(愛宕小)
- 川本 祐二(羽根小)

### ○学校教育部門 (1)ビデオ教材

#### 最優秀賞(県教育長賞)

- 『燭光をつなぐ』(岡崎の匠 磯部ろうそく店の伝統) ☆ 岡本 昌也(矢北中) 峯澤 泰季(南中)
- 赤堀 大知(矢南小) 寄田 彩日(広幡小)
- 尾崎 秀彰(矢北中) 河合 泰宏(矢北中)
- 島田 繁直(男川小)

#### 優良賞

- 『地域に根ざすコミュニケーションFM』(FMおかげさのはたらき) ☆ 成瀬 正和(羽根小) 村田 貴志(六北中)
- 水野 利明(六名小) 森 綾子(下山小)
- 名倉 嘉章(羽根小) 吉見 明(羽根小)
- 山崎 彰伯(城北中) 神野 裕美(六西小)

#### 『空気を探る』(空気自動車から) ☆

- 服部 将也(梅園小) 山口 秀樹(根石小)
- 杉浦 修(常磐中) 池田 美輝(常磐中)
- 川上 翔太(梅園小) 吉原 昌利(北中)

### ○学校教育部門 (2)コンピュータソフトウェア教材

#### 優秀賞

- 『エンサイクロペディア』(おかげさ) ☆ 長谷川誉幸(美川中) 内田 雅之(大門小)
- 岩川 皓司(葵中) 小田 哲也(新香山中)
- 山口 裕嗣(新香山中) 松坂 禎文(翔南中)
- 大塚 真悟(梅園小) 坂田 健一(岡崎小)

#### 優良賞

- 『岡崎の偉人たち2』 ☆ 鈴木 広樹(六中小) 近藤 雄一(東海中)
- 三輪 恭之(六美中) 井上 義丸(六中小)
- 加藤 光(竜美丘小) 井上 清美(夏山小)
- 佐渡 英彰(矢南小)

☆印は、「おかげさ映像教材研究会」が制作した教材です。

## 実践報告Ⅱ

### ●「チャット」で学ぶSNS利用の注意点

六ツ美南部小学校 清野 良祐

SNSと呼ばれるコミュニケーションサービスがよく話題にのぼる。小学生でもパソコンやスマートフォン、携帯ゲーム機などを利用して、仲間とコミュニケーションをとっているという話を聞く。その中で小学生がトラブルに巻き込まれるケースも少なくない。

そのような事態に対処するための知識を学ばせるため、五年生を対象に、「なりすまし」や「誹謗中傷」などSNS利用時に起こりやすい犯罪やトラブルについて学習を行った。使った教材は「キューブきつず4」内のチャット機能である。

児童に思い思いにチャットをさせている途中で、教師が匿名でチャットに入り、話の腰を折るようなメッセージを残した。すると時間がたつにつれ、児童は犯人探しや、そのメッセージに対して非難や誹謗中傷をするメッセージを書きこみ始めた。児童がだんだんと疑心暗鬼になっていくのを見計らって、チャット内で起こりうるトラブルについて話をした。子供たちからは「顔が見えないから、何かトラブルがあると怖い」「文字だけだと不安になる」「いやな気持ちになる」という感想が上がった。

今回の学習では、「相手の顔が見えない状況で、コミュニケーションを取るときに注意しなくてはいけないこと」を子供たちに体験させることができた。また、この体験を基に、様々なSNSの利用について話し合うこともできた。各学校においても、体験的な情報モラル指導の実践を行うことを勧めたい。



## レッツ・トライⅡ

### ●岡崎市現職研修委員会HPの活用を

教材を工夫して、授業で児童生徒の関心を高めたい。そんなときにぜひ利用を推奨したいのが、OKリンクの「岡崎市現職研修委員会等」内にある、「教科・領域」のホームページである。ここには各都府県から様々なアイデアや情報が公開されており、たいへん参考になる。

例えば、算数・数学部のページには、「算数・数学部アイデア集」が公開されている。ここでは、岡崎市の算数・数学部から二年に一度のページで発刊されている冊子が電子媒体でアップされており、発刊された内容が全て閲覧可能となっている。私自身も、算数の研究授業を行う際に活用させていただき、とても参考になった。

ここに収められているアイデアは、全て過去に岡崎市の教員が実際に現場で実践したものばかりである。学習の効果や注意事項なども分かりやすく記載されており、指導案作成にとっても役立つ。実際の授業では、導入の段階から終末まで、子供たちが高い意欲を維持させながら、活発な授業を展開することができた。



この「算数・数学部アイデア集」の他にも、各教科領域で様々なアイデアが公開されている。授業のねらいや学級の実態に合わせて活用すれば、子供が主体的に取り組める授業実践を行うことができる。現職研修委員会ホームページを閲覧し、日々の授業研究に役立ててほしい。

（竜谷小学校 学習情報主任 林 俊樹）

## ライブラリーだより

●コンテストへの入賞、おめでとうございます。結果は次の通りです。

### ◆2013年度KWN日本コンテスト

#### 【文化伝承賞】

『心をつなぐ縄く大門の宝物』

大門小学校 五年一組

#### 【未来への眺望賞】

『未来への眺望線』

葵中学校

### ◆第16回キューブ活用コンテスト

#### 【活用賞】

『4年生の今』

生平小学校 五年一組

#### 【努力賞】

『カレンダーをつくろう』

愛宕小学校 たんぼぼ、あじさい学級

### ◆ICT夢コンテスト2013

#### 【CBC奨励賞】

『新香山中「ノー携帯デー」「家族会議デー」宣言』

新香山中学校

### ◆IPA情報セキュリティ標語ポスター・4コマ漫画コンクール

#### 【学校賞】

藤川小学校

#### 【編集後記】

数多くの実践事例や様々な情報をお寄せいただき、ありがとうございました。とても参考になる内容でした。特に、各種ソフトウェアやICT機器を有効に利用した実践報告は、授業改善に役立ったのではないのでしょうか。来年度も月報「視聴覚教育」のいっそうの充実を図っていきますので、よろしくお願ひします。

（広報部）